

平成30年度鳴門教育大学教員免許状更新講習概要

選択必修領域

| | |
|-------|--|
| 講習の区分 | 受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類 又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域 |
| 講習の名称 | 【選択必修】学校を巡る近年の状況の変化 －保育・教育・特別支援教育の現状理解と支援の展望－ |
| 受講者定員 | 45人 |
| 受講対象者 | 全教員 |
| 開設日 | 平成30年7月8日 |
| 講習の形態 | 主として講義 |
| 講習時間 | 6時間 |
| 講習会場 | 鳴門教育大学 講義棟 2階 B201(予定) |
| 担当講師 | 大谷 博俊、井上 とも子、伊藤 弘道、湯地 宏樹 |
| 受講料 | 6,000円 |

| | |
|-----------|---|
| 講習の内容 | <p>保育・教育・特別支援教育における現状と課題について、最新の研究や情報等を提供し、より実践的・専門的な内容の講習とする。</p> <p>①障がい者の自立と社会参加の観点から、特別支援学校における進路指導(キャリア教育)に密接な関わりのある就労支援を取りあげ、教育・労働分野の状況の変化を概説する。</p> <p>②通常の学級に在籍する発達にアンバランスさのある子どもたちへの支援の方法や、これらの子どもたちを含む通常の学級の経営の在り方を中心に、インクルーシブ教育やユニバーサルデザインの視点を含めて特別支援教育を概観する。</p> <p>③通常の学級、通級指導教室、特別支援学級、特別支援学校に在籍している学習・生活面に関して特別な支援を必要とする子どもたちについて、より深い理解ができるように、医学的側面からの情報を近年の状況の変化を踏まえて概説する。</p> <p>④子ども・子育て新制度の時代に求められる保育の質について理解するとともに、幼児期から児童期にかけての保育・教育の在り方について考える。</p> |
| 講習のねらい | 幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校等の学校を巡る近年の状況の変化を踏まえ、子どもの発達理解に基づく指導や支援および学級経営の在り方、インクルーシブ教育、キャリア教育などについて幅広く学ぶとともに、自らの保育・教育の実践を振り返りつつ、教師の専門性の向上を図る。 |
| 講習到達目標 | <p>次の事項について理解し、説明することができる。</p> <p>①特別支援教育における進路指導(キャリア教育)に関わる教育・労働分野の動向、および実践の意義</p> <p>②特別支援教育における発達支援の方法および学級の経営</p> <p>③学習・生活面に関して特別な支援を必要とする子どもたちについての医学的側面の概括</p> <p>④幼児期から児童期の子ども理解と具体的な教師の援助</p> |
| 講習スケジュール | <p>平成30年7月8日</p> <p>8時50分～ 9時00分 オリエンテーション</p> <p>9時00分～10時30分 講義</p> <p>10時40分～12時10分 講義</p> <p>12時10分～13時00分 昼食休憩</p> <p>13時00分～14時30分 講義</p> <p>14時40分～16時10分 講義</p> <p>16時18分～16時20分 試験説明</p> <p>16時20分～17時00分 履修認定試験</p> <p>17時00分～17時10分 事後アンケート、連絡事項</p> |
| 履修認定試験の方法 | 筆記試験 |
| 成績評価 | 成績評価は、講習の担当者が作成した試験の成績から判断します。 履修認定試験の結果、受講者の理解が到達目標に達したと認める場合は成績審査に合格した者としてますが、その際の評価は60点以上の採点をもって行います。 |
| 持参するもの | 筆記用具 |
| その他 | 受講申込みについては、「募集要項」を参照してください。 |